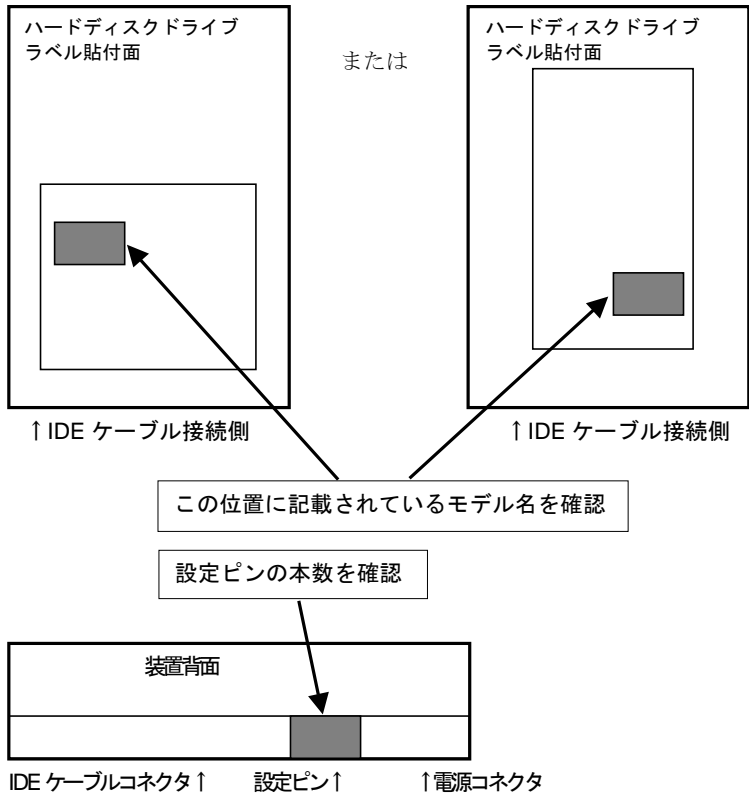


本製品をお使いの方へ

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本紙では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいことを記載しています。本紙をよくお読みになり、本製品を正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ 本製品に内蔵されているIDEハードディスクユニットについて

本製品に内蔵されているIDEハードディスクユニットについて、設定を変更する場合は、下図で示した位置のモデル名および設定ピンを確認して、それぞれに対応した設定図に従いマスター／スレーブの設定を行ってください。

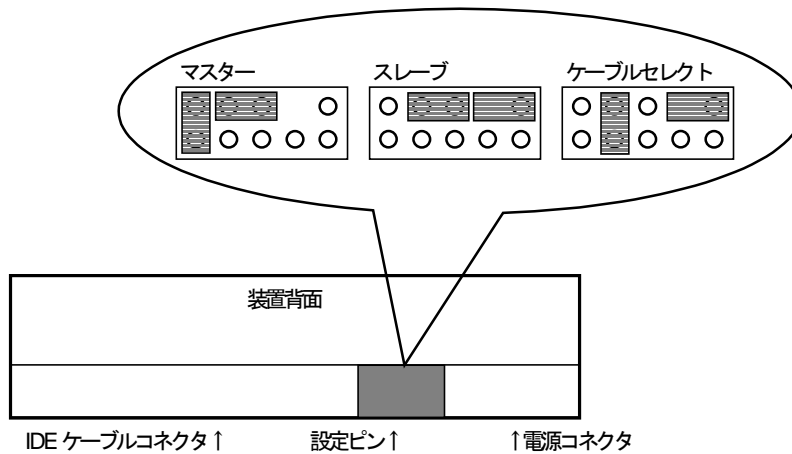


<p>モデル名：5 T 0 4 0 H 4</p> <p>設定ピン：9 本（5 列）</p> <p>○○○ ○</p> <p>○○○ ○○</p>	<p>マスター／スレーブ設定図（1）を参照してください。</p>
<p>モデル名：S T 3 4 0 0 1 6 A</p> <p>設定ピン：8 本（4 列）</p> <p>○○○ ○</p> <p>○○○ ○</p>	<p>マスター／スレーブ設定図（2）を参照してください。</p>

■ マスター／スレーブ設定図（１）

OSを起動させるハードディスクは、設定端子を下図の「マスター」に設定して、プライマリIDE側に接続します。

IDEハードディスクの２台目とする場合は、設定端子を下図の「スレーブ」に設定して、プライマリIDE側に接続します。



■ マスター／スレーブ設定図（２）

OSを起動させるハードディスクは、設定端子を下図の「マスター」に設定して、プライマリIDE側に接続します。

IDEハードディスクの２台目とする場合は、設定端子を取り外して下図の「スレーブ」に設定して、プライマリIDE側に接続します。

また、取り外した設定端子は大切に保管してください。

